

結進仕
団躍奉



発行者
一般社団法人 鹿児島県建築協会
〒892-0853 鹿児島市城山町2-13
電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479
http://www.kagoken.net/
E-mail:info@kagoken.net



城山の麓から鹿児島市街地を見守る西郷隆盛銅像
昭和12年5月23日除幕。制作は彫刻家 安藤照氏。
像の足下には西郷隆盛を慕い、像建立の発起人でその完成を前に逝去した東郷平八郎氏の揮毫「西郷隆盛像」の銘板が、氏を偲んで天(国)に向けて設置されています。
(写真提供:鹿児島県)

皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
平素から当協会の諸活動に対し温かいご理解・高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、本年は我々業界にも追い風が吹くのではないかと感じられます。明治維新150周年記念関連イベントや大河ドラマ「西郷どん」の放送などで観光客の増加が見込まれ、また国体関連の施設整備や観光関連の設備投資なども増えるのではないかと期待しております。その他にも建築工事は奄美地域の防衛施設関連整備を始め相当な規模で工事発注されており、さらに鹿児島市内の市街地再開発など当面は大型工事が数多く発注される予定であります。

ただ、工事量の増加は喜ばしいことですが、工事が短期間の間に集中的に発注されることから、技術者や技能者の不足が深刻な問題となっており、その他にも施工単価の高騰や、工期的な不安もあることから入札辞退など発生しがちであります。
その様な中、本県建築業界として取り組むべき課題も山積しております。中でも喫緊の課題である人材育成、担い手確保の問題、週休二日の完全実施や適正利潤の確保等が挙げられます。

昨年は建築工事の一般管理費率も引き上げられたことから、適正利潤については少しは改善されると思われませんが、まだ個別の工事においては色々な問題もあるようです。発注者には、先に改正された品確法の「運用指針」で示された通り適切に運用して頂き、予定価格の適正化や、設計変更など効率的な対応により、安定的経営が図られることから業界も様々な課題に対して意欲的に取り組みたいと思っております。
人材育成、担い手確保については、国が「担い手三法」を改正し、若手技術者や技能者の入職促進を図っておりますが、遅々として改善も進まない現状があります。ただ我々業界も体験学習など様々な取り組みを行っていることから、県外志向が強かった工業高校生の動きも最近では少し変化が見られるようです。また業界が進める働き方改革については中々難しい面もありますが、自らも生産性の向上を図るなど時代の変化に対応して行かなければなりません。さらに建築業界は典型的な重層構造であることから改革を困難にしていると思われ、永年に亘り業界が抱えてきた課題として、例えば日給月給や技能者の社員化、高齢化による作業効率の低下など問題が多々あります。週休二日の完全実施や有給休暇の取得率向上などは工期との関係も密接にあることから業界だけでは解決できない問題だと思えます。社会全体に理解を得ることも必要であると考へておりますが少し時間の掛かることだと思っております。



建設業界が新たに掲げる「新3K」の「給与」、「休暇」、「希望」の実現をいち早く達成させるためにも関連業種も含め全体で取り組んで行かなければなりません。
将来を見据えたときに、やはり業界としては適正利潤の確保と中長期に亘る安定的な事業量が明確に示されることが様々な改善に取り組む原動力になるものと考えます。
最後に皆様方の益々のご健勝ご多幸を、ご祈念し、また関係ご当局の一層のご理解とご指導をお願い申し上げます。

平成三十年の新春を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。
日頃から皆様方の温かいご理解とご協力を賜り、市政が順調に進展しておりますことに深く感謝申し上げます。
いよいよ今年、明治維新150周年という大きな節目を迎え、大河ドラマ「西郷どん」の放送が始まり、本市では大河ドラマ館がオープンいたしました。この歴史的な一年を、オール鹿児島で大いに盛り上げてまいりたいと考えております。
さて、我が国は、景気回復を実感しにくい情勢が続いている中、国・地方が総力を挙げて取り組んでいる人口減少問題の克服は、本市においても喫緊の課題であり、「第五次総合計画後期基本計画」や「地方創生総合戦略」に基づき、さらに力強くその取組を進めてまいりたいと考えております。
郷土を愛し、まちづくりに担う人材を育成し、

課題改善に向けて
一般社団法人鹿児島県建築協会 会長 中村 明人

平成三十年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
一般社団法人鹿児島県建築協会におかれましては、安全かつ適正な施工を通じて、本県における建築物の質の向上と地域の建築業の健全な発展のために御尽力いただき、深く敬意を表します。
また、「社会に奉仕する力強い地場産業」をメ



新しい力強い鹿児島の実現に向けて
鹿児島県知事 三反園 訓

インスローガンとして、地域貢献のボランティア活動等に積極的に取り組まれるとともに、社会基盤の整備を担う将来の建築業界を支えていく人材の育成にも努められており、心から感謝を申し上げます。
今年、明治維新150周年の節目の年です。一月からはNHK大河ドラマ「西郷どん」の放送も始まり、また、昨年は和牛のオリンピックで、鹿児島黒牛が悲願の和牛日本一に輝きました。県として、国内外からの注目が集まるこの絶好の機会を最大限に

若者や女性が活躍できるまちづくりを進めるとともに、大規模再開発への支援等により、賑わいと潤いの拠点を形成し、機能性の高い快適な都市環境の整備を進めてまいります。
こと建築分野におきましては、昨年十二月に「鹿児島市空き家等対策計画」を策定したところであり、今後、同計画に基づき、空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に進めてまいります。
また、公共施設の長寿命化や維持コストの軽減・平準化に向けた施策の推進、災害の未然防止や市民の生命・財産の保護を図るため、不特定多数が利用する大規模建築物の耐震化の促進にも取り組めます。
さらに、新婚・子育て世帯向けの市営住宅の整備



次の時代の扉を開いて
「豊かさ」実感都市・かごしまの実現
鹿児島市長 森 博幸

生かすため、官民一体となったオール鹿児島で、様々な施策をどんどん進めてまいりたいと考えております。
県では、現在、新たな県政ビジョンを策定中ですが、県民福祉の向上や県政発展につながる各般の施策の充実に努め、「新しい力強い鹿児島」の実現に向けて取組を進めてまいります。
また、平成三十二年に本県で開催されます第七十五回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」や、第二十回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に

や住宅リフォームによる良質なストックの形成の促進等についても、引き続き進めてまいります。
一五〇年前、明治という新しい時代が幕を開けました。その原動力となった「西郷どん」をはじめ薩摩の先人たちの燃える思いと実行力は、アジアで初めての近代的な国家を樹立する偉業を成し遂げました。
一世紀半の時を経て、その礎の上に立つ私たちが、この歴史に残る節目を起点として、郷土の偉人に思いを馳せ、強い情熱とチャレンジ精神を持って、わがまち・鹿児島

が広く、従来から本県の経済や地域雇用を支える上で大きな役割を担っていたに違いありません。会員の皆様には、今後とも、更なる技術力の研さんや一層の経営健全化に努められ、建築業界全体をけん引していただき、安全・快適で質の高い建築物の創造に尽力されますことを期待しております。
年頭に当たり、一般社団法人鹿児島県建築協会の今後更なる御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を心から祈念いたします。

新年のご挨拶

鹿児島労働局長 江原 由明



明けましておめでとうございます。新年を迎え、一般社団法人鹿児島県建築協会並びに会員の皆様のご繁栄を心よりお祝い申し上げます。

また皆様には、日ごろから労働行政に多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、鹿児島県の雇用情勢は、県内景気が緩やかに回復しつつある中で、有効求人倍率が昭和三十八年四月の統計開始以来、過去最高を更新しています。

また、建設業における労働災害は、この数年増加傾向にあり、建築工事業においては、昨年死亡災害が大幅に増加するなど、大変憂慮される状況が続いております。鹿児島労働局においては、「足場からの墜落・転落災害防止対策推進要綱」に基づくより安全な措置の一層の普及など建設業の皆様が引き続き安全で安心して健康に働くことが出来るよう、建設業を所管する関係行政機関、貴協会を始めとする業界団体や労働災害防止団体とともに、各方面から効果的な労働災害防止対策を展開してまいります。

さらに、長時間労働による過労死など、心身の健康障害は一人たりとも発生させてはならないとの強い意志で、重層下請構造に起因する建設業における長時間労働の是正のため、受注者・発注者が相互の理解と協力の下に取り組みすべき事項をとりまとめた「建設工事における適正な工期設定等のためのガイドライン」の周知にも取り組んでまいります。

本年も、関係者の皆様が一一致協力され、無事故でより良い職場環境を築かれますことを祈念して、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶

九州地方整備局鹿児島管轄事務所長 浅野 智



明けましておめでとうございます。平素より官庁管轄事業の推進にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

官庁管轄事業においては、国の庁舎の防災・減災、環境負荷低減・老朽化対策などに取り組み、昨年から「政府の働き方改革実行計画」に示された方針等に基づき、週休二日の推進や生産性向上に関する新たな取組も始まりました。

県内では現在、鹿児島港湾合同庁舎の建て替え工事を進めており、来年度の完成に向けて、関係する建設業者の皆様には、日頃のご尽力に改めて感謝申し上げます。また、鹿児島第三地方合同庁舎の整備事業も引き続き取り組んでまいります。この事業は、鶴丸城跡に面する鹿児島法務総合庁舎を新しい合同庁舎と建て替えるもので、整備にあたっては整備局管轄部とともに、民間団体や県、鹿児島市が進めている御楼門・御角櫓の復元事業や石垣修復、「歴史と文化の道」における景観形成との連携、庁舎機能の活用に関する連携を図り、昨年三月、国の関係機関や県市とともに地域連携の方策をまとめています。施工段階では、この方策を一つずつ確実に

新春を迎えて

鹿児島県土木部建築技監 上橋 広行



新年、おめでとうございます。皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、本県建築業の健全な発展に御尽力いただいておりますことに敬意を表します。

今年、明治維新一五〇周年を迎える節目の年です。大河ドラマ「西郷どん」の放映も始まり、鶴丸城御楼門建設工事も本格的に着手されます。

県有施設の整備については、鹿児島西警察署庁舎大隅陸上競技トレーニング施設、クルーズターミナル施設などの工事が年度内に完成し、新たに、松陽台第二団地五期など県営住宅や県立高校校舎の建替等の工事を予定しておりますので引き続き御協力をお願いいたします。

建築物の安全性確保については、昨年末に県の耐震改修促進計画を見直し、庁舎や避難所等の防災拠点施設の耐震診断の実施を義務づけることとしたほか、住宅の耐震診断を促進するなど、建築物の耐震性の促進に努めてまいります。

良好なまちづくりについては、今年着工が予定されている鹿児島中央町十九番街区の再開発事業を支援して引き続き、鹿児島市とも連携して事業促進に努めてまいります。

また、昨年十月には、新しい住宅セーフティネット制度がスタートしました。民間の空き家・空き室を活用した子育て世帯や高齢者の方などの入居を拒まない民間賃貸住宅の登録制度の創設を柱とするもので、登録促進に努めてまいります。

建築関連産業は裾野が広く、本県の経済や雇用を支えるなど、大きな役割を担っております。このため、県では、可能な限りの分離・分割発注や地元下請け業者の活用、県産資材の優先使用を進めるとともに、建設業の魅力を発信する事業等を行っているところで、皆様には、引き続き業界の発展に御尽力いただくことにも、「新しい力強い鹿児島」の実現に向け、ご支援・ご協力をお願いいたします。

年頭にあたり、貴協会の益々の御発展と皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げます。引き続き、挨拶といたします。

新年のごあいさつ

始良市長 笹山 義弘



新年、おめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えることと心からお喜び申し上げます。

鹿児島県建築協会におかれましては、自治体等との防災協定に基づく災害時の対応やボランティア活動等の地域貢献に加え、若手建築技術者の人材育成や安全で適正な建築工事の施工を通して建築物の質向上など建設業の発展にご尽力いただいておりますことを評価させていただきます。

本市の人口は年々増加しており、東洋経済新報社による「住みよきランキング」においても、総合評価において二年連続で県内一の評価をいただきました。このことは、市民の皆様のご協力の賜物であり、また、各種政策を展開してきたことが評価されてのもの

喜ばしく感じ、市政の歩みも順調に進んでいると考えております。

今年、桜島サービスエリア内のスマートインターチェンジの設置、国道一〇号から須崎地区へ向かう木田橋の架け替え、加治木駅のバリアフリー化に伴う大規模改修、フットボールセンターの設置に伴う総合運動公園の整備などの大型継続事業の完了を目指して、邁進していくと考えております。

まちづくりの基盤は、建設業界の方々の技術力が不可欠であると考えておりますので、今後も建設業界の皆様からのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結び、鹿児島県建築協会の更なる発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新春のご挨拶

鹿屋市長 中西 茂



明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より市政発展のために、格別なご支援・ご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。また、会員相互の親睦はもとより、業界の健全な発展と技術力・施工力の向上に日夜研鑽されていることに心から敬意を表します。

このように、建築行政をはじめ、各世代が安全で安心して暮らせる快適なまちづくりを進めるため、民間住宅の耐震化・リフォームの推進や、学校や市営住宅をはじめとする公共施設の整備・修繕等に取り組んでおります。また、これらの社会資本の整備に加え、本市においては、スポーツ交流の推進や鹿児島国体開催に対応できるスポーツ施設の整備など、必要となつてまいりますので、引き続き本市の建築行政へのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年も、市政発展に一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、鹿児島県建築協会の益々のご発展と会員各位のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

次に、「みなとまち再生」は、島の基幹産業である農業と漁業の強化が急務であり、一次・二次産品の種子島ブランド化を推進し、ブランド化を図ってまいります。

新年のご挨拶

西之表市長 八板 俊輔



平成三十年の新春を迎え、皆様にご挨拶申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より建築業の健全な発展と担い手の確保・育成、会員企業の経営の安定化等にご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

さて、私は昨年三月市長に就任いたしました。長に就任いたしました。近年の人口減少に伴う様々な課題を解決するために、「みなとまち再生」「産業の振興」「人づくり」の三つの柱を掲げました。中心課題とする「産業振興」は、島の基幹産業である農業と漁業の強化が急務であり、一次・二次産品の種子島ブランド化を推進し、ブランド化を図ってまいります。

次に、「みなとまち再生」は、海の玄関・西之表港を産業振興の起爆剤とする構想です。かつて、赤尾木港と呼ばれた西之表港は、鉄砲伝来をはじめ中世、近世の国際的な舞台となりました。

三つ目の「人づくり」は、郷土の発展に寄与する人材育成であり、教育研究及び文化芸術・スポーツの振興につながる施策を積極的に進めます。

最後になりますが、本年も本市建築行政の推進に一層の支援をお願い申し上げます。鹿児島県建築協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

古都巡り

鹿児島副支部長 梶井 銀二郎



今年の四月に建築仲間と京都を中心に建築探訪を二泊三日の強行スケジュールで観て廻りました。

事前に鹿児島大学の鯉坂教授のアドバイスを受け日本最古の茶室建造物大山崎の国宝待庵(たいあん)を皮切りに数多くの建物を観る事ができました。

大正から昭和にかけて活躍した建築家藤井厚二の作品「聴竹居(ちようちくきょ)」環境住宅の原点といわれております。

山歩きが好き

南薩支部会員 川原 和人



私は、山歩きが好きです。近場では、開聞岳。二台目から頂上まで八〇〇mの標高差を一気に登る山。登りはちよつときついで、頂上からは薩摩半島が一望できます。

開聞岳のすぐ近くの矢野岳。ここからは開聞岳とその裾から広がる東シナ海の眺めが素晴らしい。

大浦町の磯間岳は、標高は三六三mと低いけど、スリル満点の岩稜コース、県外の方も結構、登りに来られています。

あいさつ

北薩支部会員 上原 敬



新年明けましておめでとうございませう。太陽建設株式会社の代表取締役に就任しました。上原 敬(たかし)と申します。今後ともよろしくお願ひいたします。

長年、会社経営にご尽力された前任の野元社長から、代表取締役を引き継ぐことは、光栄なことであり、本当に身の引き締まる思いであります。

現在、受験の真っ只中で、ピリピリした毎日を送っています。早く春がくることを祈る毎日です。

『西郷どん』と『ひなたやま温泉』

始良・伊佐支部長 津田和 亨



明治維新百五十年の平成三十年初春！皆様、いかがお迎えでしょうか。

大河ドラマ『西郷どん』の放映開始もかきなり、県内各地で維新の立役者『西郷どん』にちなんだ取り組みがおこなわれています。

自分の住む霧島市『ひなたやま温泉』にも幕末から維新にかけて『西郷どん』が頻りに湯治や狩りに訪れており、地元民との逸話や龍馬夫婦、小松どんとの宿泊の史実が残されています。

新年のご挨拶

曾於副支部長 川畑 勇一郎



新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、健やかに平成三十年の新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

豪雨災害があるなど、自然災害(地震、台風、集中豪雨など)による被害が増えています。

最後にになりましたが、本年が皆様にとってより良い年になりますように祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

新年のご挨拶

種子島支部長 日高 政浩



平成三十年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年あつという間の一年でした。年々短いように感じております。

さて今年もこの紙面をお借りして我が郷土種子島を少しばかり紹介させていただきます。

年頭所感

鹿屋副支部長 林 正英



「新観光立国論を基本に、大隅四市五町が一体となり、民間主導で行われている広域観光の体制づくりが熱い。その中心となる団体が、大隅観光未来会議である。観光庁が設置を進める『日本版DMO』の候補団体である。①宿泊②産業部会(東部)③産業部会(西部)④交通・旅行部会⑤文化・スポーツ・自然各種団体の五つの部会から成り、五事業者が参加し、民間と各市町の職員も事務局員として活躍している。設立から一年半が経ち十八年四月の法人化を目指す。私もその末席を汚しているのだが、活動の方向は、観光地が人を呼び込む着地型観光である。『天隅手帳』と呼ばれる冊子を作製し様々な体験型プログラムを提供している。戦跡や古墳巡り、塩やお茶作り、パラグライダー体験、JAXA・大隅の食・etc、パラエティーに富む興味深い体験が詰め込まれており、観光客はもろもろのこと、地元の方々にも大いに活用していただいている。この会議のおかげで会員同士のネットワークも広がり、新しい観光産業・観光の6次化も生まれた。公民連携が地域の価値を高めるのを目的にしている。一方、建設業界は今「生産性革命」と働き方改革という二つの大きな変革に直面している。相反する問題もあり、前例がなく非常に複雑で、難しい課題である。今、私たちに『経営マネジメント力』が問われている。『大隅未来会議』は連携によって新しい産業を興したが、私たちは自らが地域の価値を高めるような企業活動を行う事をベースに、広域かつ民間主導で公民連携を行い、この困難に対応していくならば、『新建設産業』への入り口の扉は開かれるような気がする。

「新観光立国論を基本に、大隅四市五町が一体となり、民間主導で行われている広域観光の体制づくりが熱い。その中心となる団体が、大隅観光未来会議である。観光庁が設置を進める『日本版DMO』の候補団体である。①宿泊②産業部会(東部)③産業部会(西部)④交通・旅行部会⑤文化・スポーツ・自然各種団体の五つの部会から成り、五事業者が参加し、民間と各市町の職員も事務局員として活躍している。設立から一年半が経ち十八年四月の法人化を目指す。私もその末席を汚しているのだが、活動の方向は、観光地が人を呼び込む着地型観光である。『天隅手帳』と呼ばれる冊子を作製し様々な体験型プログラムを提供している。戦跡や古墳巡り、塩やお茶作り、パラグライダー体験、JAXA・大隅の食・etc、パラエティーに富む興味深い体験が詰め込まれており、観光客はもろもろのこと、地元の方々にも大いに活用していただいている。この会議のおかげで会員同士のネットワークも広がり、新しい観光産業・観光の6次化も生まれた。公民連携が地域の価値を高めるのを目的にしている。一方、建設業界は今「生産性革命」と働き方改革という二つの大きな変革に直面している。相反する問題もあり、前例がなく非常に複雑で、難しい課題である。今、私たちに『経営マネジメント力』が問われている。『大隅未来会議』は連携によって新しい産業を興したが、私たちは自らが地域の価値を高めるような企業活動を行う事をベースに、広域かつ民間主導で公民連携を行い、この困難に対応していくならば、『新建設産業』への入り口の扉は開かれるような気がする。

建築協会ができること

奄美支部長 松元 利道



新年明けましておめでとうございませう。謹んでお慶び申し上げます。皆様におかれましては、平素から建築協会の活動にご理解いただき、ご支援とご指導を賜り深くお礼申し上げます。

昨年は、奄美大島地区においては、地元の公共工事、県の工事、防衛省の工事等沢山の発注がなされ、各社とも忙しい時期を過ごしたことでないでしょうか？

普段は奄美に対して仕事量が少ないので、もっと島内の発注を増やしてもらおう等の要望をしていましたが業者にとつては嬉しい悲鳴だったと思えます。しかしその反面、島内におけるところどころのようです。ですので、さとうきびやさつま芋の出来が島の経済にも大きな影響があります。昨年にも全般的に農作物は出来が良くなく、建設業に携わる私共も大変心配しております。

晴れのご受賞
心からお祝い申し上げます

国土交通大臣表彰

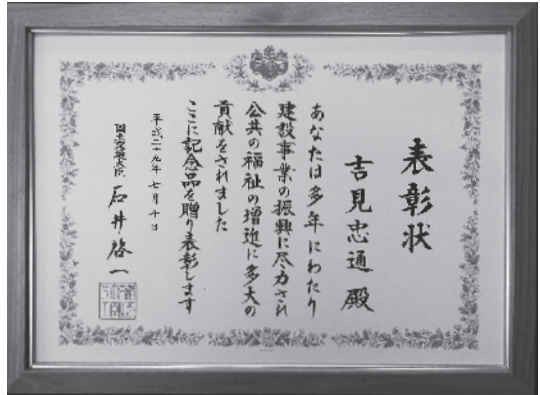
吉見 忠通 (株)吉見工務店



この度、国土交通大臣表彰を賜りました。これも偏に、建築協会会員、協力会社、関係各所の皆様のおかげと心より感謝致します。

平成七年十月、前社長の父から四十一歳の時に会社を引継ぎ、その教えである「目に見えないところをきちんと仕上げ、プロの目で見たときに褒められるようにならなければならぬ」を念頭にこれまで仕事に取り組んでまいりました。

建築業のいいところは公共建物、住宅等用途に関わらず長年に亘り、形(建物)として残るところだと思えます。私の得意分野は木造住宅ですが、これまで手がけてきた建物を見かけるとその当時の出来事や想い、引渡時の施主の方々の笑顔が蘇ることもしばしばです。これからの皆さんの笑顔を頂ける様、仕事に邁進していきたいと思えます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお祈り致します。



表彰状

吉見忠通 殿

あなたは多年にわたり、建設事業の振興に尽力され、公共の福祉の増進に多大の貢献をされました。ここに記念品を贈り表彰します。

平成三十二年七月十日

国土交通大臣

石井 啓一

年男のコーナー

二〇一八 戌年

還暦を迎えて

(株)内野組 内野 正洋



新年明けましておめでとうございます。還暦を迎え、この六十年を振り返ってみると実に様々な経験をさせて頂いた年月でした。

志を持ち東京で学び、見聞を広めたつもりでこの職業に就いたものの、理想と現実のはざままで苦しんだ日々が長かったように感じます。建築とはいったい何であろうか? 丈夫で長持ちする為には屋根は単純なほど良く、平面形状はなるべく長方形が良いのですが、それでは面白みはありません。芸術とまではいかなくとも、唯一無二の建物を造る事を心がけてまいりました。

この仕事で見出す事ができた喜びは、私に関わってきた皆様のおかげと心より感謝致します。

還暦を迎えて

川崎産業(株) 川崎 満弘



新年明けましておめでとうございます。今年、戌年年男として還暦を迎える年となりました。

振り返ると、卒業と同時に家業に就き今日に至るまで多くの方に色々なことを教わり、ご指導をいただきました。一緒に頑張ってきた仲間達を含め感謝の気持ち一杯です。

この間、順風満帆な時はありませんでした。思い通りに事が進まな

わって頂いた、たくさんの方々の力で、助言があり、感謝を申し上げます。苦しみなながらも会社を存続させてきた事は私の誇りです。未熟な私ですが、社員や皆様のお力をお借りして、初心を忘れず励んでまいりたいと思えます。

と云う状況でしたが、今は、パソコンは必需品となり、最近では、女性の進出もあり工事現場状況もだいぶ変わってきました。建設業への投資も小淵総理の頃をピークに後は、下がり続け、建設業界も苦しい時期もありましたが、現在は現政権のお陰で何とかみんなが持ちこたえている状況ではないかと思えます。これからも、人手不足、作業員の高齢化は続きますが、我々は、難儀をして作ったものが後に残るという素晴らしい仕事である事を誇りに持ちながら、世の為に、地域に貢献していきたいと思えます。

還暦を迎えて

国基建設(株) 下小野田 隆



新年あけましておめでとうございます。いよいよ今年、満六十歳を迎える年となりました。

また、還暦と言う新たな人生のスタートを切ることにしています。三十年前に帰ってきて、世の中の進歩、建設業界の進歩は目まぐるしいものがあるようです。三十年以上前は、現場事務所、トイレが、現場に有るか無いか、

光陰矢のごとし

(株)満塩建設 満塩 勝郎



新年あけましておめでとうございます。昭和三十三年生まれの戌年である事は分かっていたが、まさか今年還暦を迎えるとは想定外でした。

「頭の程度はもろろん、見かけも、どう大目にみてあつという間でした。人並みに落ち着くところに落ち

ち着いたと、思っています。が、日々の生活に追われ、若い頃の漠然とした夢は何だったかも忘れてしまいました。還暦とは辞書により「す」と、暦が一巡したことで「もう一度生まれたいときに戻る」ということらしいので、「ここでもう一度人生リセットして、何か本当に自分のやりたい事を探したい」という夢を持っていきます。

とりとめの無いことを書きましたが、最後に会員の皆様方のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

昭和二十一年生まれの会員
昭和三十三年生まれの会員

福谷 俊哉 (株)瀬戸山組



戌(いぬ)に関する豆知識

今年(戌年)！身近な動物である犬について紹介します！

(犬の歴史) 犬と人間とのつながりは、今から約1万年以上も前の時代に始まるといわれています。

(戌の日) 妊娠五ヶ月目に入った妊婦さんが、腹帯を締めて出産の無事を祈る儀式が戌の日の祝いです。これは犬は多産であるにお産が軽いことにあやかっています。

(日本犬) 純粋な日本犬は秋田犬、甲斐犬、紀州犬、四国犬、柴犬、北海道犬の6種類です。

(犬の嗅覚) 犬種により異なりますが、人間の1000倍〜1億倍といわれています。

(犬の走る速さ) 最速といわれるグレイハウンドの場合、時速約60キロ〜70キロで走ると言われています。

(働く犬) 犬は最大の武器である嗅覚や頭の良さを活かして警察犬、牧羊犬、盲導犬、聴導犬、災害救助犬(地震、山岳水難)麻薬探知犬、介助犬、盲導犬など様々な分野で活躍しています。

現場の安全意識の向上とイメージアップにお役立て下さい！

写真は現場での実際の活用例です。(ご購入は建築協会事務局まで)



イメージアップシート 協会キヤッチフレーズ 「地域に 感謝と 責任を」

懸垂幕 「安全はあせらず 無理せず油断せず」

横断幕 「安全な職場が咲かす みんなの笑顔」

建築現場の安全管理 (平成二十七年版)



▲▶2017かごしま住まいと建築展〈工事委員会〉(10月20日~21日)



協会の動き



◀平成29年度通常総会懇親会(5月26日)

▶全国安全週間説明会〈労務委員会〉(6月22日)



▼建築専門業団体との協議会〈研究開発委員会〉(9月8日)



▲合同安全パトロール〈労務委員会〉(11月15日)

▼労務委員による安全パトロール〈労務委員会〉(10月24日)



▼リスクアセスメント研修会〈労務委員会〉(9月13日)



▶年末・年始労働災害防止強調期間説明会〈労務委員会〉(11月15日)



▶「建築の日」ボランティア〈各支部〉(9月30日他)

▼現場見学会(建築士会との合同)〈工事委員会〉(10月13日)



▶自民党県議団建設問題調査会との協議会〈総務委員会〉(12月1日)



▲鹿児島県との協議会〈総務・工事委員会〉(10月18日)



平成三十年

新春建築四団体合同賀詞交歓会

新春恒例の「新春建築四団体合同賀詞交歓会」が一月四日城山観光ホテルにて開催されました。

初めに主催者を代表し建築士事務所協会会長東條正博様の挨拶のあと、来賓の方々より祝辞を頂き、来賓や各団体の長がハッピーを着て鏡開きが行われ、電設協会会長島田実様の乾杯発声の後、出席者はしばし歓談をしました。

交歓会には来賓をはじめ建築四団体会員が多数出席し、盛大な催しとなり新年の門出にふさわしい輝かしい幕開けとなりました。



安全祈願祭第四十一回安全大会

労務委員会の事業の一環である安全祈願祭及び第四十一回安全大会が鹿児島県護国神社にて開催され、約百名が参加しました。

模改修特40番棟 築2工区
(発注者 鹿児島県)

☆平成二十九年
建設業労働災害防止協会
鹿児島支部長表彰
個人賞(功労賞)
牧迫 英敏
牧迫建設株式会社

堀之内工務店・指宿湊建設特定建設工事共同企業体
工事名:鹿児島工業
高校校舎改築(3期)
(2工区)
(発注者 鹿児島県)

功績賞
浦島 望
株式会社渡辺組
和田 邦治
大塚建設株式会社
安全衛生管理優良賞
株式会社松元組

三和建設株式会社
工事名:郡山中学校
屋内運動場大規模改
造その他本体
(発注者 鹿児島市)

その後、場所を講堂に移し、建築協会会長の挨拶で始まった安全大会では、各種表彰の授与や来賓の方々よりご祝辞を賜った後、大会宣言をもって締めくくられ、今年一年の無事故・無災害を誓い合いました。

各種表彰者の受賞は次の通りです。
(敬称略)
伊藤建設株式会社
工事名:大島高校大規模改修(特40番棟 築1工区)
(発注者 鹿児島県)

新入会員紹介

よろしくお願ひします(会社名五十音順)



倉村 拓哉
(株)倉村組
[南薩支部]



尾辻 義治
(株)常盤建設
[南薩支部]

事務局より
インターネット
(協会内メール)の
ご利用状況は
いかがでしょうか?
緊急性を要するお知らせを除き、周知文書や研修会等の開催案内はインターネットで配信しています。大事な情報を見逃さないために:
●担当者が退職してログインできない
●操作方法がよくわからない
等々、お困りでしたら、事務局までご連絡ください。



一般社団法人鹿児島建築協会
青年部会 部長 堀ノ内 茂樹



新年あけましておめでとうございます。昨年度四月より、鹿児島建築協会青年部会第九代会長を拝命致しております堀ノ内茂樹でございます。

まず、今年度四月に、建築協会青年部会長として二年目の年を迎え、昨年度開催させて頂いた様々な事業を、更に飛躍させるべく、青年部会会員と共に活動させていただきます。

そして、今年度は、次世代の建設業界を担って頂く、鹿児島県内の工業高校生と共に、薩摩川内市他五つの現場において現場見学会を開催し、建築の魅力と楽しさを更に伝える事が出来ました。また、人手不足への対策勉強会として、女性スタッフや外国人技能実習生の活用方法を学び、経営者自身のスキルアップを図るべく、経営者講習会を開催させて頂きました。更に、ホームページやブログ・SNS等を使った情報発信に興味を持ち、会社や建築業界で活用される機運を高めることを目的とし、web発信セミナーを開催させていただきます。

青年部会会員募集

青年部会では会員を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問い合わせ下さい。

新入会員です よろしくお祈りします!

久徳建設(株) 吉留 祐介 会員研修委員会	株満塩建設 満塩 将太 活動委員会	株久保工務店 久保 廣之進 総務・IT委員会	株新中建設 荒木 康之 総務・IT委員会

総務・IT委員長 内村 明高



新年あけましておめでとうございます。建築協会青年部会ならびに総務・IT委員会へのご理解ご協力、誠にありがとうございます。

昨年、総務・IT委員会で新しい取り組みをいくつか始めることができました。一つは、新年早々開催いたしました青年団体との新春の集いです。こちらは、青年部会創立二十周年でのご縁を更に発展させるために、建築関係を中心に様々な業界の青年団体の方々と意見交換をいたしました。

今年も引き続き、青年部会や業界が少し盛り上がりそうです。皆さま、ご支援ご協力をお願いいたします。

皆様あけましておめでとうございます。昨年四月より建築協会青年部会、活動委員会の委員長を務めさせて頂いております。初めての委員長経験...なかなか思う様にはいかな...

「かごしま住まいと建築展」では台風接近の為、二日目の「学生との交流会はあえなく中止になりましたが、初日のブース出展を通して、地域の皆様との交流を深めることが出来ました。また、十一月に実施した「現場体験学習ツアー」では、鹿児島工業...



定時総会(総務・IT委員会) (平成29年4月28日)



かごしま住まいと建築展 ブース出展(活動委員会) (平成29年10月21日)



現場体験学習バスツアー in鹿児島工学院専門学校 (活動委員会) (平成29年11月29日)